

■TOPIC #01 学内保育所が開園します!

教職員や学生が学修・教育・研究・就業の場において、最大限に力を発揮するための基盤的要素として整備を進めてきました学内保育所が、2018年9月に開園します。

学内保育所開設に向けての取り組みは、2017年1月に、学内保育所のニーズについて確認するためのアンケートから始まりました。2017年5月に学内保育所具体化ワーキングを設置し、院生・全教職員アンケートおよび保育所ワークショップを開催し、講演会の実施や視察等を行いつつ、

短期間でボトムアップによる合意形成をはかってきました。

2017年9月には内閣府「企業主導型保育事業」へ申請し、同年12月に採択され、一部補助金を活用して衣笠とびわこ・くさつキャンパスのそれぞれに開設されることが決定しました。

学内保育所が完成して終わりではなく、引き続き、ライフイベントに際して必要となる研究環境整備について検討していきます。



立命館みらい保育園きぬがさ



立命館みらい保育園びわこ



Information /

学内保育所の概要

- 名称 / 「立命館みらい保育園きぬがさ」「立命館みらい保育園びわこ」
- 場所 / 衣笠:至徳館2階
BKC:コアステーション2階
- 常時保育時間 / 8:00-19:00(標準11時間)
- 延長保育時間 / 19:00-20:00(30分単位)
- 開所日 / 月~金
※土日祝日の授業日
※その他法人が必要と認めた日
以上の通りとしつつ、別に定める開園カレンダーに沿う。
- 定員 / 各キャンパス19名
- 2018年10月~12月入園 /
追加募集を行っています。
- その他 / 一時保育の利用に関する情報および2019年1月以降の入園に関する情報については、決定次第ご案内します。

詳細は、ホームページをご確認ください。
<http://www.ritsumei.ac.jp/rmnursery/>

■TOPIC #02 文部科学省 科学技術人材育成費補助事業

開催
予告

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)中間総括シンポジウム
~女性研究者支援とダイバーシティ研究環境実現に向けて~」

2016年「文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択され、女性研究者の研究環境整備を進めてきました。事業3年目を迎え、中間総括シンポジウムを開催し、到達点の確認と今後の課題の共有化を行い、さらなる進歩と、全構成員のワーク・ライフ・バランスの推進を図ります。

当日は、文部科学省や先進的な取り組みをされている大学よりゲストをお迎えして基調講演や本学8学部の取り組み内容・情報交換会も準備しております。

皆様のご来場をお待ちしております。

シンポジウムのご案内

- 日時 / 2018年9月20日(木) 13:00~18:00
- 会場 / びわこ・くさつキャンパス ローム記念館大会議室
- 申込方法 / 申込フォームより
ご登録をお願いいたします
<http://bit.ly/researchlifesupport2018>



参加費
無料

無料託児所を
ご用意

締め切り
9月6日(木)



プログラムの詳細は、「リサーチライフサポート室」のホームページよりご確認ください。
<http://www.ritsumei.ac.jp/research/rsupport/>

■TOPIC #03 研究支援員制度 第4期募集開始!

出産・育児・介護等のライフイベントと研究活動の両立を支援するため「ライフイベントに関わる研究支援員制度」第4期募集を開始します。

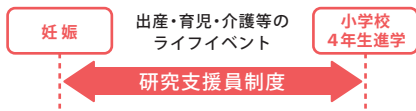
この制度では、ライフイベント中も研究を継続できるように「研究支援員」の雇用経費を1期(6ヶ月)につき上限30万円まで助成するものです。募集要項は研究部HPをご確認ください。(http://www.ritsumei.ac.jp/research/rsupport/research/research.html/)

● 申請期間

2018年8月1日(水)～8月31日(金)

● 助成期間

2018年10月1日(月)～2019年3月31日(日)



※6ヶ月を1期として通算6期まで利用可能
※男性教員・女性教員とも取得可

利用者の声

文学部 細尾萌子 准教授

※第1～2期利用報告書より 申請区分:育児 ※ご本人の承諾を得て掲載しています。

▶ 家庭生活への効果

本制度を活用することで、フランス語文献を読む時間が節約できたので、その分、日曜日は子どもと一緒に過ごすことができました。また、平日の睡眠時間を少し増やすことができ、よい身体・精神状態で研究を進めることができたため、子どもに対しても余裕をもって接することができ、子どもとの関係がよくなった。

▶ 感想・意見

本制度で個人宛業務委託も利用できるようになり、大変ありがたい。私の研究分野の特性上、フランス語文献の翻訳・要約や、フランス語(外国語)のテープ起こしを研究支援員に依頼したいが、専門性が高いため、学外の場合によっては遠方の方に頼まざるを得ない。業務委託は、本学で作業してもらわなくてもよく、成果物に基づいた謝金の支払いができるので、非常に使い勝手がよい。今後も業務委託が利用できるようにぜひしてもらいたい。

▶ これまでの研究支援員制度利用状況

	利用者	申請区分/性別
第1期 2017/6/1～ 2017/11/30	人文社会科学系7件 自然科学系2件 合計9件	育児9件 女性9件
第2期 2017/10/1～ 2018/3/1	人文社会科学系9件 自然科学系4件 合計13件	妊娠・育児1件 育児12件 女性13件
第3期 2018/4/1～ 2018/9/30	人文社会科学系11件 自然科学系5件 合計16件	育児14件/介護2件 女性14件/男性2件

■TOPIC #04 授乳・休憩室を設置しました!

「授乳室兼休憩室」をご用意しました。

ゆったりくつろいで授乳いただけるソファ、給湯設備をご用意しました。また、妊娠中や女性特有の症状等で体調が芳しくないときの休憩室としてもご利用いただけます。

- 場 所 / BKCコアステーション2階リサーチライフサポート室
- 入室方法 / 初めて利用する前に、カードリーダーの登録が必要です。お申し出後、登録手続きを完了してからご使用いただけます。お手数ですが、事前に下記にご連絡くださいますようお願いいたします。
- 連絡先 / 077-561-2631 内線515-6533(担当:杉山、中原、難波)
✉ rsupport@st.ritsumei.ac.jp



活動報告と今後の予定

日経ウーマノミクスプロジェクト

「女性研究者キャリアカフェ」に参加しました

日本経済新聞社様のご協力のもと、6月14日龍谷大学と本学共催により瀬田キャンパスで開催いたしました。この取り組みは、女性研究者のネットワークづくりを目的としています。本学薬学部河野貴子准教授が講師の1人として登壇し、ご自身の研究キャリアをご紹介いただきました。

新任教員懇親会「Welcome to 立命館」を開催しました

2016年から2018年に着任された新任教員対象に各キャンパスにて懇親会を行いました。3キャンパスで合わせて約30名の参加があり、研究支援の様々な制度を知っていただくと共に、学部を越えた交流を深めました。

日経ウーマノミクスフォーラム「ダイバーシティ

研究環境整備と女性研究者の未来」が開催されます

2018年8月31日大阪市北区のグランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)3Fイベントホールにて、日経ウーマノミクス・プロジェクトが主催するフォーラムが開催されます。

パネルディスカッションⅢ(15:30-16:50)では本学情報理工学部の西原陽子准教授もパネリストとして参加し、女性研究者がキャリアステージごとに抱える悩みや壁、課題の乗り越え方などを議論し、会場の高校生、学生・院生との質疑応答、不安解消法の共有を図ります。また、本学の女性活躍推進の取り組みをご紹介しますブース展示をします。



立命館大学 男女共同参画推進リサーチライフサポート室

お問い合わせ先
[全キャンパス共通]

びわこ・くさつキャンパス
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
TEL:077-561-2631(内線:515-6500)
E-mail:rsupport@st.ritsumei.ac.jp [平日] 9:00-17:30 開室

www.ritsumei.ac.jp/research/rsupport/

